



キャベツ10月どり作型における「秋さやか」及び「夏さやか」の栽培条件

【1 成果の概要】

10月まで長期安定出荷できる春系キャベツの産地を確立するため、「秋さやか」と「夏さやか」を10月どり作型で用いる場合の栽培条件について検討を行いました。

(1) 10月どり作型に適する栽培条件は以下のとおりです(表1)。

これらの栽培条件では、標準の栽培条件と比較して**収穫可能株数が増加**します(図1、図2)。

表1 10月どり作型に適する栽培条件

品種	定植晩限	株間 (cm)	窒素施肥量 (kg/10a)
秋さやか	8月上旬	30	24
夏さやか		35	20

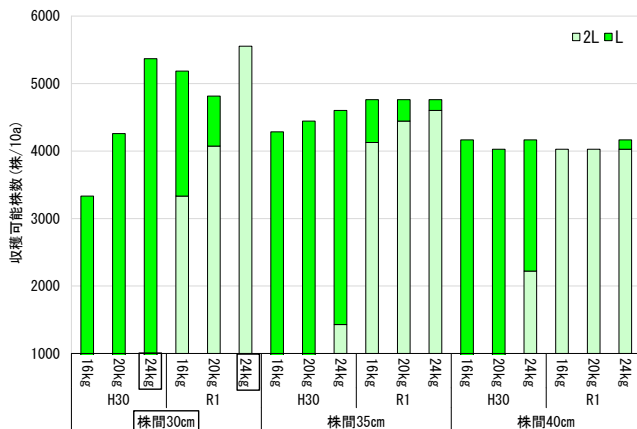


図1 「秋さやか」の収穫可能株数 (H29～R1)

※1) 収穫可能株数は定植株数とL規格以上割合から算出
※2) 横軸の16～24kgは窒素施肥量を示す

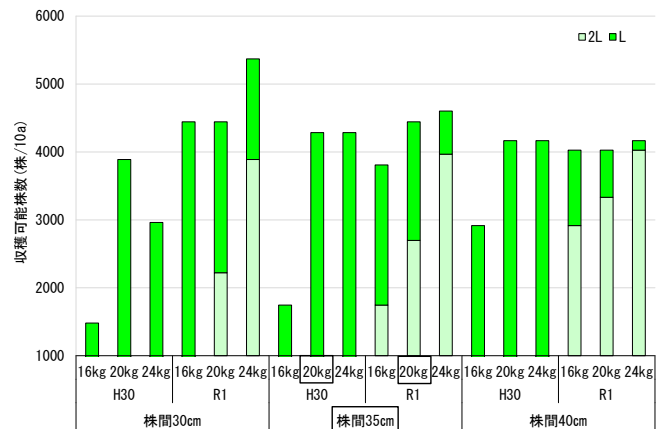


図2 「夏さやか」の収穫可能株数 (H30～R1)

【試験概要(図1、図2)】

- ・試験場所：県北農業研究所(軽米町)
- ・標準の栽培条件：条間60cm×株間30cm (5,555株/10a)、窒素施肥量16kg/10a
(参考)岩手県野菜栽培技術指針、岩手県施肥基準(品目:夏秋どりキャベツ)

【2 効果】

10月の出荷量が増加し、長期安定出荷が可能となります。

【3 留意事項】

- (1) 8月中旬以降の定植は、収穫時期が11月以降になります。
- (2) 定植以降の気象条件の影響により、収穫期が前後する場合があります。
- (3) 栽培期間中は、病害虫の防除を徹底しましょう。